

成果指標 検証票

施策名	2-(4)-ウ-③	20歳以上の者の適正飲酒及び少年の飲酒防止対策の推進							
成果指標名	単位	基準値	実績値			目標値 R6年度	達成率	達成状況	
			R4	R5	R6				
			1,423	1,296		1,227	81.2%	達成に努める	
			計画値						
1,328	1,277	1,227							
担当部課名	県警本部生活安全部生活安全企画課								
達成状況の説明									
令和5年の泥酔者保護件数は1,296件であり、計画値を19件上回る結果となった。									
要因分析									
類型	説明								
⑫ 社会経済情勢	社会経済活動が平常化し、人流が戻ったことが要因の一つであると推察される。								
対応案									
飲酒に絡む事件・事故を防止するため、継続して適正飲酒に関する取組を推進する。									

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	2-(4)-ウ-③	主な取組名	多量飲酒に関する広報啓発	対応課	生活安全部生活安全企画課
成果指標への寄与の状況	令和5年の泥酔者保護件数は1,296件であり、計画値より19件上回った。				
要因分析	社会経済活動が平常化し、人流が戻ったことが要因の一つであると推察される。				
対応案	飲酒に絡む事件・事故を防止するため、継続して適正飲酒に関する取組を推進する。				
関連する主な取組					
施策番号	2-(4)-ウ-③	主な取組名	アルコール関連犯罪の防止に関する措置	対応課	生活安全部生活安全企画課
成果指標への寄与の状況	令和5年の泥酔者保護件数は1,296件であり、計画値より19件上回った。				
要因分析	社会経済活動が平常化し、人流が戻ったことが要因の一つであると推察される。				
対応案	飲酒に絡む事件・事故を防止するため、継続して適正飲酒に関する取組を推進する。				

(様式3) 「成果指標」検証票

関連する主な取組					
施策番号	2-(4)-ウ-③	主な取組名	青少年健全育成事業（飲酒の危険性・有害性関連）	対応課	生活安全部少年課
成果指標への寄与の状況	薬物乱用防止教室を通じた違法薬物の危険性や飲酒の有害性について、広報啓発活動を実施した。				
要因分析	令和5年中における安全学習支援隊等による薬物乱用防止教室は320回、延べ68,704人（前年比91回、4,203人増加）実施したほか、講話の対象者を小学生から高校生まで広く設定し、開催回数を多くした結果、目標値を達成した。				
対応案	児童生徒に対して、学校、保護者、地域等と連携して飲酒の有害性の内容も含めた薬物乱用防止教室の広報啓発に取り組んだ。				